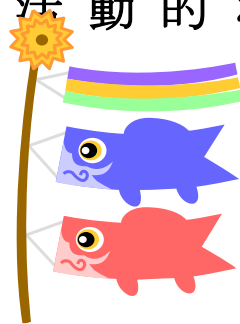




# のぞみ 希 望

学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/sugita/> TEL771-0649

## 活動的な季節に



学校長 村上 裕子

風薫るさわやかな季節になりました。半袖で元気に走りまわっている子が増えました。「こどもの日」を含んだゴールデンウィークも始まります。それぞれのご家庭で楽しい計画があるかもしれません。

5月5日は、昔「端午の節句」と言われていました。「端午の節句」は中国では「厄払い」の行事だそうです。旧暦の5月に病気が

はやり、なくなる方が多くいた中国では、同じ数字が並ぶ5月5日は悪い意味をもつ日となり、菖蒲を門にさして厄払いをしました。日本に伝来すると菖蒲（しょうぶ）は武士である尚武（しょうぶ）と同じ読み方をし、菖蒲の葉は先がとがっていて剣に見えることから「男の子」の成長を祝う行事となっていきました。大正時代に「児童愛護デー」が始まり、1948年に祝日法で「子どもの人格を重んじ、子どもの幸福を図るとともに、母に感謝する」ことを趣旨として「こどもの日」が制定されました。「こどもの日」は子どもの成長を祝う日と思っていましたが、制定された「こどもの日」の条文には「母に感謝する」とあるので、母の日が子どもの日に近いことも頷けました。先日保健室であるお子さんと話をしました。母の日に何をプレゼントするか、お母さんがいかに忙しくしているか、でもお母さんが大好きなこと・・・うらやましく話を聞いていました。子どもにとって家族が一番大切であり、家庭は自分の安心できる居場所なのだ実感しました。

入学・進級して一ヶ月がたとうとしています。給食ももりもり食べて、新しい環境の中、がんばって過ごすことができました。特に6年生は最高学年としての立場になり、杉田小学校をよりよい学校にするために活動しています。委員会活動やクラブ活動でもリードしていますし、1年生への接し方もとても優しいと感じました。また、MDS金管バンドでも新しく入ってきてわからなくて困っている下級生に丁寧に対応している姿を見ました。6年生は「学校の顔」です。6年生が下級生のことを考えたり、学校をしっかりリードできることはすばらしいと思います。いそがしくて、責任が重くて、たいへんなこともいっぱいあります。時には壁にあたり、悩むこともあるかもしれませんが、一人ではありません。みんなで支えあって成長していけるように声をかけていきたいと考えます。

いよいよ「杉リンピック」の練習が始まりました。この「杉リンピック」は、子どもたちにとって多くのことを学ぶ大切な時間です。当日はもちろんですが、それまでの練習過程での学びも多いです。団体演技や競技では、ルールを守ってみんなと力を合わせていく必要があります。徒競走や障害走でも、自分だけが走るのではなく、走っている子を一生懸命応援する姿勢も大切です。競技なので、勝ち、負けもです。勝ってもおごらず、負

けてもそれを受け止める気持ちをもつこともできます。ふれあい競技では、1年生が未就学児と玉入れをしたり、2年生が地域の方と鈴割をしたりすることで人と人がつながる楽しさを感じると思います。学校では子どもの実態に応じて、安全第一に事故や怪我のないよう指導を続けます。それぞれの学校らしさができるのが運動会です。私にとって初めての「杉リンピック」なので、今からとても楽しみにしています。「杉リンピック」は5月21日（土）に開催予定です。ぜひ子どもたちの一生懸命練習した晴れ姿をご覧になり、惜しみない声援をおくっていただければ幸いです。

